

水のふるさと

横浜市立新羽中学校

三年 近藤 杏樹

たくさんの木々に、美しい花。鳥の鳴き声が聞こえ、近くの川にはサケが泳ぐ。私の祖父は、北海道に森を持っていきます。私は横浜に住んでいるので、森の中は非日常で、とても癒されます。私はこの森が大好きです。

夏休みのある日、私は祖父と妹と一緒に大好きな森へ出かけました。妹ときれいな花を見つけて遊んでいると、祖父は大きくて不思議な形をした車に乗っていました。何だろうと思い、聞いてみると、その車は草刈り機というものでした。森の手入れをするために、草を刈らなければいけないそうです。

どうして森林の整備をしなければならないのでしょうか。自然のものには、人の手を加えない方が良いでしょう。思えます。

実は、豊かな森林には間伐や枝打などの手入れが必要なのです。適度に間伐が行われていると、太陽の光が入り、下草が多く生え、水源かん養の働きが高まります。もし間伐が行われなければ、木々が込み合ってしまうため、太陽の光が入らず、また、根がおき出しになって土砂も流れてしまいます。よって、水源かん養の働きが低下し、私たちの飲み水も安定的に確保されなくなるのです。

豊かな森の土壌は、スポンジのような構造になっており、そのすきまに裸地の約3倍もの水を蓄えることができます。私が祖父の森に行った時も、土はフカフカで、少し歩くとくつが湿るような感じがしました。雨水を蓄えることで、森林が水をきれいにしながら少しずつ時間をかけて流すので、洪水を防ぎ、川も濁らず透明になります。また、私たちが普段、使用している水も森林からやってきています。私の住む神奈川県では、4つのダムが森林から流れ込んだ水を水がめとして貯めて、県民に必要な水の9割以上を賄っています。

このように、森林は水にとって必要不可欠であり、大きな役割を担っています。豊かな森を守っていくために、

私たちができることは何でしょうか。自ら間伐や枝打などをするのは難しい、という人は多いと思います。なので、国産の木材で作られた商品を選んで購入するというのが良いと思います。外国産の安い木材が入るようになった一方で、国内では人件費などによりコストが高くなってきています。また、森林の手入れをする所有者や林業で働く人も減ってきてしまっています。このままでは、森林の手入れがされなくなり、荒れた森林が増えてしまいます。国内の林業を助け、豊かな森林を守るためにも、国産木材の商品の購入をぜひ実践していきましょう。

最後に、水は私たちの生活に絶対に必要で、ずっと先の未来でも、水はとても大切です。きれいな水を、きれいな地球を、残していくために、私たちが今、行動しなければなりません。祖父の森で見たような、あの美しい水のふるさとを、みんなで協力して守っていきましょう。